

令和2年度第2回玉野市教科用図書選定委員会 会議録

開催日時：令和元年7月22日（月）9：00～16：50

開催場所：玉野市庁舎 4階 第1委員会室

出席者 9名

欠席者 なし

<内容>

1 開会（委員長）

2 経過報告

（事務局）5月31日の第1回選定委員会後、6月10日に第1回教科用図書研究委員会を開催し、見本本が届けられた全ての教科書について、調査研究を開始。  
6月14日から7月3日まで、教科用図書見本本展示会を開催。  
7月8日に、第2回教科用図書研究委員会を開催し、協議・調査・研究をとりまとめ、全ての教科書について研究報告書を作成した。

3 採択に係る意見書について

（事務局）教科書見本本展示会において、今回、提出された意見書について報告。

4 説明・協議

（事務局）種目ごとに、研究委員の報告を聞いた上で質疑応答し、研究委員を一時退席させて協議を行うことについて説明。

（事務局）本会の会議録の概要を後日ホームページ等で公開することを了承いただきたい。

（委員長）了承する。

【算数】

（研究委員）研究報告書に基づき、各社の見本本について研究結果の概要を報告。

（選定委員）ブロック図を使った教科書が多いが研究委員の中ではブロック図についてどのような話が出たか。また、練習問題、発展問題が単元の中で扱われているも

- のと、最後にまとめて取り上げてあるものがあるが、それについてはどうか。
- (研究委員) ブロック図については100のタイルを崩して10のかたまりを作っていく時に難しさが出てくるのではという意見が出た。問題の配置についてはレイアウトチェックの問題が単元の前にあったり、巻末に問題がまとめられたり様々であったが、それぞれの良さがあるのではないか。
- (選定委員) 各社工夫があるが、めあて、まとめの記述についてはどうか。
- (研究委員) めあて、まとめがはっきりとわかりやすく示されているのが啓林館の特徴であった。めあて、まとめという言葉がはっきり示されていないなくても、それぞれの教科書会社の方法で表現されていた。

<研究委員、退席>

- (選定委員) わかりやすく見やすいことが大切で、タイトルの文字やめあての表し方など、一番わかりやすかったのが啓林館であった。千や一万を学習するとき位ごとに色を変えてあり、わかりやすく感じた。
- (選定委員) QRコードも家庭学習に活用できる。本市の課題である家庭学習への手助けになるのではないか。流れが一番わかりやすく、啓林館がふさわしいように思う。
- (委員長) それでは、啓林館を選定することでよいか。
- (選定委員) よろしい。
- (委員長) それでは、啓林館とする。

【保健】

- (研究委員) 研究報告書に基づき、各社の見本本について研究結果の概要を報告。
- (選定委員) それぞれの教科書について説明があったが、学研の特徴である点をもう少し詳しく知りたい。
- (研究委員) 学研が他社と一番違った例として、5、6年生の心の健康の所で思春期の学びとして、いじめが取り上げられていた。他の教科書にはなく、こういう場面でどういう行動をとればいいのかを考えさせるなど、現代的な課題を取り上げており、学級指導でも活用できると感じた。

<研究委員、退席>

- (選定委員) それぞれの教科書会社ごとに特徴があったが、学研はどの教科書会社よりも内容をまんべんなく取り込んでいる印象を受けた。
- (選定委員) 使いやすさを考えるとやはり学研がよいと感じた。
- (選定委員) 指導のしやすさ等を考えると、学研のものがふさわしいのではないか。内容的にも、現代的な課題がたくさん取り上げられるなど、充実している。

(委員 長) それでは、学研教育みらいを選定することでよいか。

(選定委員) よろしい。

(委員 長) それでは、学研とする。

## 【社会】

(研究委員) 研究報告書に基づき、各社の見本本について研究結果の概要を報告。

(選定委員) 自然災害がクローズアップされているが、日文の自然災害の扱いが優れているところはどこか。

(研究委員) 水害がメインに取り上げられており、水害の経験のある本市にとっては身近な題材が取り上げられている。

### <研究委員、退席>

(選定委員) 日本文教出版は岡山県の実情に合った内容が多く取り上げられている。キャリア教育を進める玉野市にとってはふさわしいと感じた。

(選定委員) 東京書籍も岡山県の内容を取り上げている。教育出版も玉野市の写真が使われているところもある。

(選定委員) 中学年は社会科が始まる学年なので、より具体的な内容が扱われている方がよい。日本文教出版は岡山県の内容が多く扱われているので、中学年の児童にとっては学習に入りやすい教科書だと感じた。

(選定委員) 資料の効果的な使い方が大切になってくるが、日本文教出版の自然災害の写真と他社の写真を比較すると、災害のみの写真と現場の人が写っている違いがあった。人と自然との関わりも分かり、資料の良さを感じた。

(委員 長) それでは、日本文教出版を選定することでよいか。

(選定委員) よろしい。

(委員 長) それでは、日本文教出版とする。

## 【書写】

(研究委員) 研究報告書に基づき、各社の見本本について研究結果の概要を報告。

(選定委員) 書写をするときには教科書の大きさも気になるところであるが、教科書の大きさについてはどのような話が出たか。

(研究委員) 東京書籍は大きくて使いやすい。他社についてはB5サイズである。学校図書はB5だが、縦に向ければ半紙サイズになる。B5サイズの良さではあるが、机の上に置くと使いにくさも出てくることも考えられる。

### <研究委員、退席>

(選定委員) それぞれの教科書を並べて比較してみたが、力強さや四文字になったときのバ

ランス、漢字とひらがなの組み合わせなどで違いが見られた。

(選定委員) 教育出版は「よこ画」「たて画」のあとに「はらい」になっている。他社は「よこ画」「たて画」のあと、「折れ」「はね」となり、そのあと「はらい」になっている。

(選定委員) 研究委員の報告、実際の教科書を比較し、使いやすさも考えると東京書籍がふさわしいのではないか。

(委員長) それでは、東京書籍を選定することでよいか。

(選定委員) よろしい。

(委員長) それでは、東京書籍とする。

### 【音楽】

(研究委員) 研究報告書に基づき、各社の見本本について研究結果の概要を報告。

(選定委員) 内容はどちらもよさが出ているが、教科書を使用する上で、気になるところはどこか。

(研究委員) 現在、教育芸術社を使用しているが、教育出版の教科書と学習した曲が重なってしまうことが懸念され、使用する時には配慮が必要である。

(選定委員) 教育出版はどの学年も全校合奏が取り上げられているので曲数が少なくなってしまう。研究委員会ではどんな意見が出たか。

(研究委員) 同じ曲でも学年によって編曲され、低学年は簡単に、高学年になると難易度が上げてあり、それを全校でできるよさも感じた。実際に全校で合奏ができるかどうか、教育芸術社のようにそれぞれ違う合奏曲が多く載っている方がいいのではという意見が出た。

### <研究委員、退席>

(選定委員) 教育芸術社は最初のページに「歌う」「きく」「演奏する」のページがあり、見通しをもって活動に取り組むことができる。また、3種類のキャラクターがそれぞれの役割をもっていて要点をわかりやすく支援している。子どもの活動の支援としては教育芸術社のよさを感じた。

(選定委員) 教育出版のオーケストラのページは工夫されていた。工夫の部分と実際の使いやすさもポイントになってくる。内容についてはどちらも研究された教科書であったので使い方次第である。

(選定委員) 学習した曲が重なってしまうところはやはり配慮が必要である。中学校での学習内容の関係もあり、目標設定にも工夫が必要である。総合的に考えると教育芸術社がふさわしいのではないか。

(委員長) それでは、教育芸術社を選定することでよいか。

(選定委員) よろしい。

(委員 長) それでは、教育芸術社とする。

#### 【図工】

(研究委員) 研究報告書に基づき、各社の見本本について研究結果の概要を報告。

(選定委員) 開隆堂出版はユニークな教科書だと感じたが、日本文教出版にもたくさんのよさがあり、研究委員からは両社を比較してどんな意見が出てきたか。

(研究委員) 開隆堂出版のよさもあるが、1単位時間を考えたときに、日本文教出版は見開き1ページで活動が見通せるとともに、指導する側も児童も見やすいところがよい点としてあげられる。

<研究委員、退席>

(選定委員) QRコードが開隆堂出版には付いており、家庭でも活用できると考える。日本文教出版は図画工作で大切な片付けも丁寧に押さえられていた。写真も多く、子どもにとっては日本文教出版がよいのではないかと感じた。

(選定委員) 開隆堂出版はそれぞれの学年でタイトルやフォントも工夫されていて、見た目から楽しさを感じる。しかし、様々な部分で筋道立てていたり、安全や片付けの表記も一貫して整っているのは日本文教出版であった。図工は安全面への配慮が大切になってくる。教科書として使用していくのは日本文教出版のほうがふさわしいのではないかと感じた。

(委員 長) それでは、日本文教出版を選定することでよいか。

(選定委員) よろしい。

(委員 長) それでは、日本文教出版とする。

#### 【国語】

(研究委員) 研究報告書に基づき、各社の見本本について研究結果の概要を報告。

(選定委員) 学校図書の学習過程がつかみにくいというのはどういった点か。

(研究委員) 他社は学習過程が単元毎に示されているが、学校図書は上巻の巻頭にまとめられている。単元毎に示されていないため、見返す必要が出てくるという意見が研究委員の中からは挙がっていた。

(選定委員) 教育出版の学習過程の表記について報告書に示されているが、どういったところか説明してほしい。

(研究委員) 「読むこと」については大きく扱っているが、「話すこと」「聞くこと」「書くこと」については、下の方に小さく載っているため、児童が意識しにくのではないかと感じた。

(選定委員) 2社が6年生まで分冊で東京書籍と光村図書は5、6年が1冊である。分冊になって軽量化が図られたという部分も考えられるがどうか。

(研究委員) 1～4年は分冊にしないとかなり分厚くなってしまうので1～4年は分冊の

必要性を感じる。

<研究委員、退席>

(選定委員) 古典の部分は中学校への流れとしてどこの教科書もうまく取り入れられている。光村図書は「言葉の宝箱」で感情を表す言葉などがまとめられており、今の子どもたちにとっては語彙を増やす手助けになる。物語の前に説明文が付いており、そこを指導して物語に入ること、読みが深まっていく。そこが光村図書の特徴だと感じた。

(選定委員) 高学年はふりかえりや年間の見通しを持たせるためにも、分冊での軽量化よりも、1冊の方がよいのではと感じた。そういった視点からも光村図書がふさわしいのではないかな。

(委員長) それでは、光村図書を選定することでよいか。

(選定委員) よろしい。

(委員長) それでは、光村図書とする。

## 【理科】

(研究委員) 研究報告書に基づき、各社の見本本について研究結果の概要を報告。

(選定委員) 啓林館の報告書にある表記のばらつきとはどういったところなのか。

(研究委員) 単元名が学習活動が挙げられているものと、めあてに近い表現で示されているものがある。4年生以上は単元名での表記になっているが、特に3年生の表記にばらつきがあり、混在しているという意見が出ていた。

(選定委員) 理科を探究していく過程でよい実験が示されているといった視点で研究委員で意見は挙がったか。

(研究委員) 大日本図書については「めしべ・おしべ」を扱うときに、一般的にはへちまを使うが、あさがおが使われていた。夏休みまでに終わらせないと、2学期からは扱えない内容もあった。啓林館は大単元でまとめられているところもあり、扱いが広すぎると感じる場所もあった。一番配慮を感じたのは東京書籍であった。

(選定委員) 東京書籍に「理科のミカタ」が示されていたがこれについてはどうか。

(研究委員) 理科的な思考を助ける内容が書いてある。教科書が大判であるが、大きさをうまく使い、文字の大きさや見やすさも確保されている。

(選定委員) 教育出版の報告書に安全面が記述されていたが、他社の安全面への記述についてはどうか。

(研究委員) どの教科書にも巻末等に実験器具の扱いについては載せてある。特に注意するところについては「きけん」と表記してある。決して他社が扱っていないわけではない。

<研究委員、退席>

(選定委員) QRコードを取り入れていたのが東京書籍と啓林館であった。自然教材を扱うときには情報を収集する方法として有効であると感じる。科学的思考を進めるには東京書籍の教科書がよいと感じた。安全面については東京書籍と教育出版は「危険」という言葉を使って注意喚起をしていた。他社は「注意」という標記であった。注意喚起に関しては「危険」の方がよいと感じた。

(選定委員) 科学的な思考を高めたり、理科的な物の見方、考え方が身につくような工夫がされているのは東京書籍が優れていると感じた。

(委員長) それでは、東京書籍を選定することでよいか。

(選定委員) よろしい。

(委員長) それでは、東京書籍とする。

## 【道徳】

(研究委員) 研究報告書に基づき、各社の見本本について研究結果の概要を報告。

(選定委員) 本冊と別冊に分かれているもの、ノートが付いているものがあるが、1冊と別冊に分かれていることについて研究委員ではどのような意見が出たか。

(研究委員) ノートは2教材を並べて記述ができるものもあり、成長度合いを比較しながら使うことができるものもあったが、白紙が多いものもあり、自由度は増しているが、別のノートの方が担任の工夫ができるのではないかという意見があった。別冊だからいい悪いではなく、そういった意見が出た。

<研究委員、退席>

(選定委員) ノートに問いが書かれている場合もあり、使いにくいと感じる教員も多いのではないか。教科書である以上、ノートを使う必要もある。日本文教出版はノートに中心発問が書かれている。本文の中にも発問があり、中心発問から外せない可能性もある。ノートにしばられて自由度がなくなってしまうことも考えられる。東京書籍は本文の後ろに発問がいくつか用意され、使いやすいように思う。

(選定委員) 教材研究が必要な教科書だが、教師の意図を組みやすく、教師力の向上にもつながる。東京書籍がよいと感じる。

(委員長) それでは、東京書籍を選定することでよいか。

(選定委員) よろしい。

(委員長) それでは、東京書籍とする。

## 【生活】

(研究委員) 研究報告書に基づき、各社の見本本について研究結果の概要を報告。

(選定委員) 東京書籍の教科書が他社に比べてサイズが大きいですが、サイズ感について研究委員ではどんな話題が出たか。

(研究委員) 東京書籍はサイズが大きいからか、写真がわかりやすかった。気になったのはランドセルや机に入るかどうかだが、低学年担任から問題ないという意見が出た。

(選定委員) 生活科カードを書くときの指導ページがあるが、東京書籍は五感を使うことが示されていたが、他社はどうか。

(研究委員) 巻末に載っていたり、まとめに載っていたりもしたが、どの教科書にも生活科カードについての記載はあった。大きく紹介されているのは東京書籍という話になった。

<研究委員、退席>

(選定委員) サイズの話が出ていたが、東京書籍のおもちゃ図鑑のおもちゃの作り方のページだが、スペースを上手に使いながら作り方、遊び方まで詳しく掲載されている。スペースを有効に活用しているように感じた。

(選定委員) 東京書籍は写真や絵がとても見やすかった。他社にも凝った工夫が見られたが、1、2年生の子どもたちにとっては写真や絵の見やすさが大切だと思う。掲載されている写真にも意図が感じられた。

(選定委員) 教科書は大きい方がいいのか。

(選定委員) 低学年には大きくて見やすい方がふさわしいと思う。

(委員長) それでは、東京書籍を選定することでよいか。

(選定委員) よろしい。

(委員長) それでは、東京書籍とする。

**【家庭】**

(研究委員) 研究報告書に基づき、各社の見本本について研究結果の概要を報告。

(選定委員) 開隆堂出版をこれまで使用してきたが、東京書籍と比較してどのような意見が出たか。

(研究委員) どちらの教科書もよさがたくさんあったが開隆堂出版と東京書籍を見比べると、東京書籍の方が情報量が多く、丁寧さを感じた。

<研究委員、退席>

(選定委員) どちらの教科書もよくまとめられており、甲乙付けがたい。それぞれのよさがあり、東京書籍は大きさを利用して作業工程が全て同じパターンで統一されており、見やすさを感じた。開隆堂出版にも東京書籍にも最後に野菜の切り方

や縫い方の解説には右利き、左利きの両方が掲載されていた。東京書籍の方がよりはっきりと見やすい印象を受けた。

(選定委員) 料理の行程では東京書籍は盛り付けで終わるのではなく、片付けまできちんと掲載されている。

(選定委員) どちらもいいと感じたが、家庭科はまとめて大きく表示してある方がわかりやすく感じた。より詳しく教えるには見やすさを考えて東京書籍がよいのではないか。

(選定委員) 野菜の洗い方から短冊切りの長さなどの実物が載せてあり、絵だけではなく、とてもわかりやすい。

(委員 長) それでは、東京書籍を選定することでよいか。

(選定委員) よろしい。

(委員 長) それでは、東京書籍とする。

#### 【地図】

(研究委員) 研究報告書に基づき、各社の見本本について研究結果の概要を報告。

(選定委員) 防災関係について両社に記載されているが、帝国書院は防災マップの具体的な作り方が掲載されているということだが、東京書籍はどうか。

(研究委員) 防災マップの作りやすさとしては帝国書院のほうが良いと感じた。東京書籍は自然災害に備えてということで、ハザードマップを見てどんな災害が起こりやすいかを考えるようになっていたが、帝国書院は自分たちで作ってみるという流れであった。

#### <研究委員、退席>

(選定委員) 東京書籍は歴史や自然災害が詳しく載っている印象を受けた。しかし、同じ地域の地図を比較したときに、帝国書院の方が色合いやコントラストが見やすかった。地図を見るときには見やすさが重要だと思う。その中でも目次からの探しやすさも帝国書院がよかった。

(選定委員) ページ数は帝国書院の方が多いが、重さは変わらない感じがする。色合いも見やすく、QRコードも多くのページに示されており、効果的に活用できる。玉野に造船のマークもついており、玉野市で使用するにはよいと感じる。

(委員 長) それでは、帝国書院を選定することでよいか。

(選定委員) よろしい。

(委員 長) それでは、帝国書院とする。

#### 【英語】

(研究委員) 研究報告書に基づき、各社の見本本について研究結果の概要を報告。

- (選定委員) 小学校から中学校への接続も大切になってくるが、研究委員の中ではどのような話が出たか。
- (研究委員) これまではコミュニケーションを大切にしていたが、「話すこと」「聞くこと」に加え、「読むこと」「書くこと」を扱うようになり、難しすぎると英語に対する苦手意識をもって中学校に送ってしまうことになるという話が出た。どの教科書も大切なことが盛り込まれているが、教員が授業をこなさなければならない、しなくてはならないという意識になると、教える側も教えられる側も難しい英語になってしまう可能性もある。スモールステップで学習していくことができる教科書がよいのではという意見が出ていた。
- (選定委員) 中学校の視点から見ると、小学校5年生でここまでするのかと思う教科書もあったように思うがどうか。
- (研究委員) ここで初めて「読むこと」「書くこと」が出てくる。これまではゲーム等でのやりとりで慣れ親しんだり、コミュニケーションでのやりとりを大切にしていたが、教科書によっては「書くこと」を5年生からしっかり入れている教科書もあった。教科書の中にドリルが組み込まれているようなものもあったが、子どもの実態に応じてワークシート等で取り入れていく方が扱いやすいのではないかという意見もあった。
- (選定委員) 中学校側も小学校でどのような指導をしているのかを把握していくことの重要性を感じる。

<研究委員、退席>

- (選定委員) スモールステップで指導にあたりやすいのは三省堂という意見であった。量や内容も教科書によって様々であった。
- (選定委員) 分量の違いは比較して感じたところである。玉野市の児童の実態を考えると、教師も子どもも負担感なく取り組むには三省堂がふさわしく感じる。
- (選定委員) 聞く活動、書く活動、読む活動それぞれがスモールステップで学習できるように配置されており、子どもたちにとっては学びやすいと感じた。友達とのよい関わりについて考える活動や自分の将来について考える活動が取り上げられており、キャリア教育を進める玉野市においては有効であると感じた。
- (委員 長) それでは、三省堂を選定することでよいか。
- (選定委員) よろしい。
- (委員 長) それでは、三省堂とする。

(5) 教育委員会への報告について

事務局より説明

5 閉会（学校教育課長）